

## 2年 個人と社会 (MYP3 Individuals and Society) 【社会：3単位】

### 科目のねらい

すべての MYP 科目のねらいでは、教師が指導すべきこと、生徒が経験し学習すべきことを提示しています。また、これらのねらいには、学習体験によって生徒がどう変わり得るかが示されています。MYP の「個人と社会」のねらいは、生徒に以下のことを促して、習得させることです。

- 人間と環境に見られる共通点や多様性を認識すること
- 個人、社会、環境の相互作用や相互依存性を理解すること
- 環境の体系と人間の体系がどのように作用し進化していくかを理解すること
- 人間のコミュニティと自然環境の健やかさについて、問題点を特定し啓発すること
- 地域及びグローバルなコミュニティの責任ある市民としての行動すること

探究のスキルを養い、個人と社会とそれらが生きる環境との間の関係性を概念的に理解すること

### 目標および評価規準 (Year 3)

MYP 評価観点	
A：知識と理解	i. 文脈に合った一定範囲の用語を使う。
	ii. 記述や説明、または事例を通して、科目ごとの内容と概念についての知識と理解を示す。
B：調査探究	i. 明確かつ的の絞られた研究課題を設定または選択し、その関連性を説明する。
	ii. 研究課題を調査するための行動計画を策定し実践する。
	iii. 関連性の高い情報を収集し記録するための方法を活用する。
	iv. 指導を得て、研究のプロセスと結果を評価する。
C：コミュニケーション	i. 受け手と目的にとって適切な方法で、情報や考えを伝達する。
	ii. 課題の指示に従って、情報や考えを構成する。
	iii. 引用文献のリストを作成し、情報源に言及する。
D：批判的思考	i. 概念、問題点、モデル、視覚表現、理論を分析する。
	ii. 情報を要約して、有効かつ論拠のある主張を行う。
	iii. 幅広い情報源やデータを出典や目的という観点から分析し、その価値や限界を考察する。
	iv. さまざまなものの見方を認識し、そこに含まれる意味を説明する。

※ねらい・目標・評価規準の記述は、IBO 発行の「Individuals and Society guide」に基づいています。

関連概念（個人と社会の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

地理			
因果関係	文化	格差と公平	多様性
グローバル化	管理と関与	ネットワーク	パターンとトレンド
力・権力	過程	規模	持続可能性

歴史			
因果関係	文明	対立	協調
文化	統治	アイデンティティー	イデオロギー
革新と革命	相互依存	ものの見方	重要性

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. 体系 2. 公平性と発展 3. 批判的思考	歴史的分野 A 近世 武家政権の展開と世界の動き (1) 武士による全国支配の完成 (2) 天下泰平の世の中 (3) 社会の変化と幕府の対策  教材：教科書(歴史)、資料集	「調査計画書」「レポート」【A】【B】【D】 近世の日本の特色を大観するとともに、江戸時代の統治体系や国内産業の発展、国際関係への対応について探究し、その価値と限界を考察する。	1. 【A】-① 【B】-③ 【D】-② 2. C-16
	2	1. 時間・場所・空間 2. 文化、多様性、グローバル化 3. 創造的思考	地理的分野 A 世界と日本の地域構成 B 世界のさまざまな地域 (1) 人々の生活と環境  教材：教科書(地理)、地図帳	「調査計画書」「ポスター」【B】【C】 世界各地の人々の生活は営まれる自然条件及び社会条件の影響を受けている。見学旅行の訪問地として選んだ国の伝統的な生活を調査し、その背景として自然的条件及び社会的条件がどのような影響を与えているか説明する。	1. 【B】-③ 【C】-① 2. C-11
後期 (10月～3月)	3	1. グローバルなかかわり 2. 因果関係 3. コミュニケーション	地理的分野 A 世界の諸地域 (1) アジア州 (2) ヨーロッパ州 (3) アフリカ州 (4) 北アメリカ州 (5) 南アメリカ州 (6) オセアニア州  教材：教科書(地理)、地図帳	「調査計画書」「レポート」【C】【D】 世界各州における時間・場所・空間の特色と地球的課題との関係にかかわる問いについて、「地理的な見方・考え方」を働かせながら、多角的・多面的に探究し、考察、選択、判断したことをレポートで示す。	1. 【C】-③ 【D】-② 2. C-12
	4	1. 変化 2. 公平性と発展 3. 批判的思考	歴史的分野 B 近代(前半) (1) 欧米諸国における近代化 (2) 開国と幕府の終わり (3) 明治政府による近代化 (4) 近代国家への歩み (5) 帝国主義と日本 (6) アジアの強国の光と影  教材：教科書(歴史)、資料集	「レポート」【A】【D】 近代国家日本の外交政策の変化について、当時の状況を踏まえて、史資料をもとに多角的・多面的に分析し、考察、選択、判断したことについて論じる。	1. 【A】-① 【D】-② 2. C-18